



2025（令和7）年度

二中だより



第1号 2025（令和7）年4月8日 発行責任者 加賀谷 登

進級おめでとうございます！

お子様たちの進級おめでとうございます。今年度もよろしくお願いいたします。
保護者の皆様もご存じの通り、昨年度末で、椿町中学校が本校と統合となり、新3年生に4名の仲間が加わり
ました。また、明日は椿小学校から1名入学してまいります。令和7年度の生徒数は、1年生39名、2年生41
名、3年生40名、計120名となります。生徒・教員全員の力で、阿南第二中学校をますます発展させていき
たいと考えています。今年一年、保護者の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

校訓「自ら学ぶ」とは、どんな学び方なのか 4月8日（火）令和7年度始業式、学校長式辞より

いよいよ令和7年度がスタートしました。

まず、みなさんが、本日元気に登校してくれたことに感謝したいと思います。ありがとうございます。

昨年何度か話をしましたが、この4月から、椿町中学校が本校と統合され、3年生に4名の仲間が増えまし
た。また、明日は、椿小学校から1名入学してきます。令和7年度は、1年生39名、2年生41名、3年生
40名、全校生徒120名となります。全員の力を合わせて、阿南第二中学校の新しい歴史と伝統を築いてい
ってください。

さて、新年度のスタートに際して、阿南第二中学校の校訓「自ら学ぶ」ということを今一度考えてみてくだ
さい。「自ら学ぶ」とはどんな学び方でしょうか。

- ・授業を一生懸命受ける。
 - ・予習復習をしっかりとる。
 - ・自主勉をがんばる。
 - ・興味のあることを調べる。
 - ・自分で課題を設定し、課題を解決していく。
- いろいろなことを思いつくと思いますが、間違いではありません。
では、効果的に「自ら学ぶ」ためには、何が必要なのでしょう。

「自ら学ぶ」ためには、「夢」をもつこと、「志」をもつことが必要です。そして、その夢や志を実現させ
るために計画することです。みなさんは、中学2年生、3年生になったばかりです。将来の夢を描き切れてい
ない人が多いと思います。しかし、はっきりした夢がないからと漠然とした学習をしていては、効果は限
定的になります。身近な目標でもかまいません。目標を設定し、計画を立てて学習していきましょう。それが、
「自ら学ぶ」ということにつながっていきます。

校訓のもと、二中学生がめざす生徒像が、「夢と志の実現に向けて、考え行動できる生徒」です。そして、こ
れを実現させるために、次のことに注意して欲しいと思います。

- ① 認め合い、支え合い、高め合って、ともに学ぶ友達と絆をつないでください。
- ② どんな時にも、時を守り 場を清め 礼を正して人間性の向上に努めてください。
- ③ 目標の実現に向け、主体的に学んで学力向上に努めてください。
- ④ 最後に、健康・安全に配慮して体力の向上に励んでください。

これらに注意して、阿南二中で学ぶ生徒一人一人が幸せを実感できる学校生活を送って欲しいと願っていま
す。

みなさんが、生きていくこれからの時代は、将来の予測が難しいと言われています。

世界に目を向けてみましょう。AIをはじめとする情報技術・科学技術は急激な進歩をとげています。極端
に言えば、昨日までの先端技術は、明日にはもう古い技術となっています。ウクライナでの戦争やガザの紛争
をはじめとする国際紛争や、不透明な国際政治による影響は世界にどのような影響を与えるか、非常に不透明
です。

日本国内では、少子高齢化には歯止めがなく、ますます進んでいます。それによる現役世代の減少により、
社会保障制度を始め、国のさまざまな制度も変わろうとしています。

みなさんは、今後そんな時代に向けて生きていくことになるわけです。そんな時代・社会を生き抜くための
基盤となるものが、「自ら学ぶ」姿勢と実行力だと考えます。

新年度のスタートにあたって、校訓と目指す生徒像、そして、みんなが生きていかなければならない時代に
ついて考えていただきました。

全員の力を結集して、阿南第二中学校をさらに素晴らしい学校にしましょう。先生方は、みなさん一
人一人が「夢」や「志」を実現できるよう全力でサポートしていきます。しっかりがんばってください。

令和7年度学校経営の概要

校訓	自ら学ぶ	学校教育目標	夢と志をもち、心豊かにたくましく生きぬく生徒の育成
めざす学校像	「生徒・教職員・保護者・地域がともに誇れる学校」 ・生徒一人一人の生きがいを育み、学び喜び(学びがい)のある学校 ・教職員が子どもの成長に喜びをもち、働きがいを感じる学校 ・保護者や地域に信頼され、愛される(応援しがいのある)学校		
めざす生徒像	「夢と志の実現に向けて、考え行動できる生徒」 ・認め合い、支え合い、高め合う生徒(絆づくり)・・・新3つの「あい」の種 ・時を守り 場を清め 礼を正す生徒(人間力向上) ・目標の実現に向け、主体的に学ぶ生徒(学力向上) ・健康・安全に配慮し、自ら成長する生徒(体力向上)		
めざす教職員像	「夢を語り、人生の道しるべとなる教職員」 ・教職に対する使命感にあふれ、生徒の成長を喜べる教職員 ・向上心をもち、協働する教職員 ・豊かな人間性と社会性など、高い人間力を身につけた教職員		

令和7年度の職員紹介

担任等	名前	年数
校長	加賀谷 登	3年目
教頭	佐坂 大介	1年目
教務	片山 徹	3年目
1年代表	谷中 英昭	1年目
1年1組	中西 崇文	7年目
1年2組	鶴岡 裕子	2年目
3組	四宮 小百合	2年目
2年代表	宮本 和香	3年目
2年1組	森 雄一	4年目
2年2組	藤川 奈都美	2年目
3年代表	笹野 潤	3年目
3年1組	重清 知也	3年目
3年2組	笹野 潤	3年目
4組	久家 陽子	1年目
養護教諭	川上 志保	2年目
事務長	林 孝典	4年目
用務員	岡田 裕美	8年目
教育業務支援員	高鶴 文華	1年目
初任研指導員	株木 正彦	1年目
若手サポーター	澤田 典子	1年目

※この他に、図書館サポーターの阪本裕子先生(毎週月曜日)、スクールカウンセラーの的場みぎわ先生(毎週火曜日)、ALT(外国語指導助手)のクレバー先生がいます。

本年度の教職員19名です。子どもたちのために一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。

今年度赴任された先生方のうち、5名の先生のメッセージを紹介します。今回紹介できなかったメッセージは、次号で紹介します。

期待よりも不安が大きい中、阿南第二中学校に着任して、はや一週間が経ちました。業務にも慣れ、周囲を見渡す心の余裕も感じられるようになりました。

経験豊富な先生方と連携を図りながら、子どもたちの自己実現が確かなものとなるように取り組んで参りますので、皆様方のご支援、ご協力を今後ともよろしくお願い申し上げます。

佐坂 大介

初めまして、谷中英昭と申します。私は、教員生活三十八年目になりますが、今回初めて阿南二中で勤務することになりました。ただし、47年前の1978年に一年間だけこの学校の生徒として、この学校ができた最初の年にこの校舎で過ごしました。実は私は、この学校の第1回卒業生なのです。開校当時は体育館がなかったので、開校式や始業式、入学式は全て運動場にパイプイスを並べて外で行いました。よく雨が降らずに全部の式をできたなと思っています。正面玄関横にある「自ら学ぶ」の石碑は開校当時からあり、この言葉は私の心に今もはっきりと残り、私の学びの原点だと思っています。きっと生徒の皆さんもこの言葉を心に刻みながら毎日阿南二中で自ら学んでいるんだと思います。まずは、一年間、一緒に楽しく学びましょう。よろしくお願いします。

谷中 英昭

椿町中学校より転入してきました。何度か交流学习をしていただき、阿南第二中学校の、明るくエネルギーな雰囲気を感じていました。その学校の一員として活動できることになり、うれしさとともに、身の引き締まる思いがしています。自分のできることを一生懸命していこうと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。

久家 陽子

阿南第二中学校での勤務は三回目となります。美しい桜並木の坂道を通ると「二中に帰ってきたのだなあ」と感慨深くなりました。ご縁のある学校で勤めることができ、大変うれしく思っています。「日々、明るく前向きに」をモットーにがんばりたいと思います。短い間ですが、よろしくお願いします。

澤田 典子

今年度、火曜日の午前中に、3年生と数学の勉強をさせていただきます。阿南第二中学校では、30年前に5年間勤務させていただき、楽しい思い出がいっぱいあります。今年度もたくさんの思い出を共有できれば幸いです。65歳になりましたが、いくつになっても考えることは楽しいことです。みなさんといっしょに、考えること・学ぶことを楽しみたいと思いますので、よろしくお願い致します。

株木 正彦